

第39回男子 第52回女子 沖縄県中学校ソフトボール競技大会要項

- 1 主 催 沖縄県中学校体育連盟 沖縄県教育委員会
- 2 共 催 読谷村教育委員会
- 3 後 援 沖縄県中学校体育委員会連合会 沖縄県中学校長会 (公財) 沖縄県体育協会
沖縄県ソフトボール協会
- 4 期 日 平成29年7月 8日(土)・9日(日) ※15日(土)・17日(月)：予備日
- 5 日 程 平成29年7月 8日(土) 開 始 式 8：15
競 技 開 始 9：30(1回戦・2回戦)
7月 9日(日) 競 技 開 始 9：00(準決勝・決勝戦)
閉 会 式 競 技 終 了 後
- 6 会 場 『読谷村運動広場』 『読谷村多目的広場』
- 7 申 込 締 切 日 各地区中体連の締切日を厳守すること。
(国頭 6/13、中頭 6/14、那覇 6/15、島尻 6/14、宮古 6/19、八重山 6/9)
- 8 申 込 方 法 県中体連ホームページから大会参加申込用紙をダウンロードし必要事項を入力し、プリントアウトしたものに捺印を受け、各地区専門部長から地区中体連事務局を通じ、一括して県中体連事務局まで申し込むこと。
- 9 企画運営責任者 県中体連ソフトボール専門部
◎我如古 悟(嘉手納) ○仲嶺 真(与勝) ○金城 昌己(松島)
立津 茂良(古堅) 安里 光之(美東) 金城兵四郎(大里)
宮里 涉(浦西) 砂川 文子(与那原) 山内 要(読谷)
上猶 司(あげな) 山本 秀樹(与勝) 外間 郁生(西崎)
- 10 参 加 資 格 (1)地区中体連大会を経て地区中体連会長の推薦するチームとする。
(2)地区大会が開催されない地区は、当該中学校の校長が許可し、地区中体連会長の推薦を得たチームとする。
(3)選手の引率は出場校の校長・教員とする。監督等は出場校の校長・教職員(常勤)とする。教職員以外のコーチについては、学校長の認めた者で地区県に登録された者とする。但し、ベンチ入りについては1名のみとする。
(4)九州・全国大会への代表権を獲得した場合は県代表としての自覚と責任を持ち、県中体連の計画および指導を遵守し、九州大会・全国大会へ参加できる学校であること。
(5)参加資格の特例を認める。[開催基準8(7)複数校合同チーム]
- 11 参 加 制 限 選手18名、引率責任者、監督、コーチ、スコアラー(生徒)の計22名とする。
(ベンチ入り人数)
- 12 参 加 料 参加選手一人につき500円とする。申込みと同時に納入すること。
- 13 競 技 形 式 トーナメント法(シード制を採用する。女子6チーム・男子2チーム)とする。
但し、参加チームが4チーム以下の場合はリーグ戦を採用する。
- 14 競 技 方 法 (1)ユニホームナンバーは監督30番、コーチ31番、選手は1番～25番(主将10番)とし、必ず着用する。(着用しない場合はベンチに入れない)
(2)シードチームについては、専門部会で決定する。
(3)点差によるコールドゲームは、3回以降10点、5回以降7点差とする。
(決勝戦に関しては5回以降7点差とする)
(4)7回終了時、同点の場合は、8回からタイブレーカーを適用する。
※タイブレーカーは10回までとし、勝敗が決しない場合は抽選とする。
(5)降雨、日没によるコールドゲームは5回以降とする。
(6)サスペンデッドを採用する。
(7)打者・次打者・走者・ベースコーチとも両耳用ヘルメットを着用すること。
尚、捕手はヘルメット、マスク、スロートガード、プロテクター、レガースを着用すること。
(8)ベンチは抽選番号の若い方を1塁側とする。
(9)4回と7回終了時に熱中症予防のため5分間の給水時間を設ける。(給水等の体力回復に限る)
(10)ベースコーチは選手のみとする。
- 15 競 技 規 則 平成29年度日本ソフトボール協会競技規則に準ずる。
- 16 試 合 球 公認検定球「内外ソフトボール」(3号球)
- 17 組 合 抽 選 本部(専門部)抽選とする。 6月22日(木) 15：30
- 18 表 彰 他 男女とも優勝、準優勝、第3位を表彰する。
- 19 そ の の (1)男女優勝・準優勝チームに九州中学校体育大会への出場資格を与える。
(2)監督・コーチ・選手の変更は大会前日(17:00)までに県専門部長まで届け出る。
(3)ケガ・熱中症等、健康上の理由による試合の出場不可は、本部の判断に従う。
(4)県中体連では別紙「個人情報保護方針」に基づき、県中体連が保有する情報の適正な管理と保護に努めます。